

2014年度 釜山国楽チェンバーオーケストラ 邦楽 特別講義

1. 日 時 : 2014年10月20日(月)11時15分～12時45分
2. 場 所 : ミレニアムホール
3. 対象学生 : 大学専攻科・大学・短大 邦楽専攻・コース生
大学 音楽学専攻生
短大 (月曜2限)「音楽史 (世界と日本の音楽を考える)」履修生

他聴講可

4. 講師紹介 : 釜山国楽チェンバーオーケストラ

指揮者ホン・ヒチョル氏率いる「釜山国楽チェンバーオーケストラ」は、韓国の伝統音楽「国楽」の楽器を用いた管弦楽団で、2004年に創団以降、数多くの演奏を行ってきた。韓国・釜山で唯一の民間国楽オーケストラであり、2013年には創団10周年定期演奏会を「釜山芸術の殿堂ホール」(釜山で最も有名な大ホール)にて行い、伽倻琴の人間国宝ホン・ビョング氏を招いて成功裏に終えている。伝統楽器を使っの伝統曲・創作曲など多くのレパートリーを持ち、韓国伝統音楽以外の様々なジャンルの奏者とも多く共演、多様な音楽を追求しながら、伝統音楽の普及に努めている。【メンバー氏名は、裏面参照。】

5. 講義概要 :

- | | |
|---------------|--|
| 1. 国楽管弦楽 | 「アリラン幻想曲」 |
| 2. 箏協奏曲 | 「異弄共感」 / 共演 片岡リサ(邦楽専攻講師) |
| 3. 正楽 | カヤグム(弦楽器) / テグム・ピリ(管楽器) |
| 4. 楽器解説コーナー | |
| 5. 散調 | コムンゴ・アジェン(弦楽器) / チャング(打楽器) |
| 6. 韓国歌謡と国楽管弦楽 | ドラマ「イサン」より“約束”
ドラマ「王家の家族たち」より“愛を探して 人生を探して” |
| 7. 国楽管弦楽 | 「彷徨」 |

今回の特別講義では、演奏だけでなく、使用されている韓国伝統楽器の紹介とともに、日本でも有名な韓国民謡「アリラン」から、日本の伝統楽器「箏」との共演、また韓流ブームの火付け役となった韓国ドラマ挿入歌までの幅広いジャンルの曲を通して、韓国の「国楽」の伝統と現在を体感します。

あまり日本では馴染みのない伝統音楽ジャンルである「国楽オーケストラ」の音色やリズムを感じ、世界にあまたある“非西洋”の音楽を知ること、様々な音楽活動を行うための幅広い感性を高めることを目的とします。

釜山国楽チェンバーオーケストラのメンバー

指揮者：洪 熙哲

副指揮者 兼 音楽監督：徐 那英

楽 長：林 采炯 (打楽)

伽 倻 琴：李 美子・金 ウンビョル・崔 陞慧

金 明宣・金 我娟・金 娥賢

玄 琴：河 秀旻・尹 喜珉

奚 琴：朴 芝園・徐 秀貞・金 彦廷

牙 箏：崔 英勳・權 タジョン

大 筚 篥：朴 美貞・李 修印・金 慶園・李 性陣

觿 箏：朴 仁英・池 瑛才・權 赫得・高 敏禎

打 楽：林 采炯・朴 鈺淀

ヴァイオリン：金 拏妍

チ ェ ロ：文 惠禎

ピ ッ コ ロ：劉 奏怜

シンセサイザー：黄 守珍

ボ ー カ ル：金 暎英